

2024年度 岡山県支部年次大会・ 10周年記念大会・講演会の報告

技術士（森林部門）
河崎技術士事務所所長
岡山大学教授（特任）
河崎 弥生



1. はじめに

「2024年度岡山県支部年次大会・10周年記念大会・講演会」が開催されましたので、概要を報告致します。本年度は、通常の年次大会と併せて岡山県支部設立10周年記念大会が開催されました。さらに、著名なデザイナーによる記念講演会も開かれ、一般にも開放されました。

2. 全体の日程と場所

- (1) 主催：公益社団法人日本技術士会 中国本部岡山県支部
- (2) 日時：令和6年7月27日（土）13:30～19:45
 - ・2024年度年次大会 13:30～14:30
 - ・10周年記念大会 14:45～15:45
 - ・記念講演会 16:00～17:30
 - ・懇親会 17:45～19:45
- (3) 会場：岡山プラザホテル（岡山市中区浜2丁目3-12）

3. 2024年度 年次大会（会員のみ参加可能）

1) 開会挨拶

川井広一支部長が、活動の状況などの報告を含めて、開会の挨拶をされました。

2) 2024年度岡山県支部 役員紹介

本年度は、役員改選の年ではないので、昨年から継続している役員名簿が示されました。

3) 2023年度岡山県支部 事業報告および収支決算

事務局から示された（案）が、了承されました。

4) 2024年度岡山県支部 事業計画および収支予算

事務局から示された（案）が、了承されました。本年度も引き続き、津山工業高等専門学校や岡山理科大学との交流や連携事業に積極的に取り組む計画が示されました。その他、防災委員会など各種委員会の取組予定が示されました。

5) 2024年度岡山県支部の組織および規約説明

「岡山県支部の運営における個別事項に関する手引き」が改めて示されました。組織体制などが明確に示されており、会員の理解が進むように思われました。

6) 閉会挨拶

中村淳二副支部長が、活動に対する協力依頼などを含めて、閉会の挨拶をされました。



写真 1 川井支部長の挨拶



写真 2 会場の様子

4. 10周年記念大会（どなたでも参加可能）

1) 開会挨拶

川井広一支部長が、創立10周年を迎えた岡山県支部のこれまでの歩みについて触れ、創立時の様々な背景や歩み出す際の苦労などについて述べられ、会員の取組や賛助企業の協力に感謝の意を示されました。

2) 来賓挨拶・祝辞

産官学の組織・団体から多くの来賓が出席され、各人の紹介が行われました。このうち、岡山理科大学の平野学長、国土交通省中国整備局岡山国道事務所の樋口所長、日本技術士会中国本部の福田本部長が挨拶されました。各人、これまでの技術士会岡山県支部との繋がり、これからの連携への期待などを含め、祝意を示されました。

3) 岡山県支部10年の歴史

中村淳二副支部長が、これまでの10年間の歩みについて説明をされました。10年間の会員の着実な増加、大学等との連携の開始と強化、行政施策に対する協力など、本支部が周囲から高い評価を受けるようになってきていることが報告されました。

4) 今後の10年に向けて

馬場裕典修習者支援委員会委員長が、今後の10年間の活動について方向性を示されました。多様性が増す社会において、会員の増加に向けた若手受験者への支援、子供向け理科教育への支援、地域防災活動への貢献などを通して、支部の発展に寄与したいという決意を示されました。

5) 協賛団体・会員の表彰

岡山県支部に対するこれまでの貢献に対して、表彰が行われました。初代支部長の木口誠二氏、2代目支部長の田邊信男氏、その他情報関係への貢献度が高かった小林昇氏、松澤秀泰氏に対して、川井支部長から表彰状が授与されました。

6) 閉会挨拶

分部秀樹副支部長が、これまでの活動に対するお礼と、今後の協力をお願いを述べて、閉会のあいさつとされました。



写真 3 福田本部長の挨拶



写真 4 平野学長の挨拶



図 5 感謝状の贈呈



図 6 中村副支部長のこれまでの歩みの説明

5. 記念講演会（どなたでも参加可能）

演題：「デザインは公共のために」

講師：水戸岡 鋭治氏（ドーンデザイン研究所代表）

全国的に著名なデザイナーである水戸岡 鋭治氏による「デザインは公共のために」と題する講演を拝聴しました。これまでの豊富な実績の紹介と併せて、それらを行う上での基本的な理念についても話しがありました。一流のデザイナーからは学ぶ

ところは数多く、非常に有意義な時間となりました。

水戸岡氏がメジャーな立場に立たれてからの、特にこの 35 年間の活躍の内容について、写真による具体的な解説があり、非常に分かりやすく感じました。JR九州での仕事は、画期的で、JRの経営方針にも影響を与えたものとして、特に注目に値するものでした。

水戸岡氏の発言で印象深かったのは、例えば「製品と商品は違うものである。日本人は製品づくりには長けていても、商品作りは上手ではない。」「人の情熱が予算もクオリティーも凌駕する。」というものなどでした。また、自分の仕事と発想は、個人が囲い込んでしまうような場所では無く、公共の空間で示したいという語りも、水戸岡氏のこれまでの歩みを示すものとして、とても印象的でした。

最後に、ガウディの「あしたは、今日よりももっと良い仕事をしよう。」という言葉を紹介し、講演を締めくくられました。

一流のデザイナー、あるいは一流のクリエイターという「いわゆる一流と呼ばれるレベルの人」は、確かな信念と卓越した技術を持っておられることを改めて知る機会となりました。10周年記念講演としては、本当に有意義なものであったと思います。



写真 7 水戸岡英二氏による講演



写真 8 水戸岡氏デザインの車両

6. 交流会（どなたでも参加可能）

岡山プラザホテルで、70人を上回る来賓、会員等が出席して開催されました。

乾杯は、（公社）日本技術士会理事の乗安直人氏が、大学院博士課程後期の学生が2次試験の受験資格を有するようになるという会則の改正を紹介したうえで、乾杯の音頭を取られた。

岡山うらじゃ踊りのアトラクションもあり、懇親会は大いに盛り上がったものとなった。あちらこちらで、名刺交換する光景が見られ、様々な人を知る上で貴重な機会となっていることが知られました。全体的に、とても楽しい懇親会でした。



写真 9 懇親会の会場



写真 10 逢沢衆議院議員のご挨拶



写真 11 乗安理事によるご挨拶と乾杯



写真 12 うらじゃ踊りでの盛り上がり